



第4章 上位計画・関連計画の概要

1. 上位計画・関連計画における
白糠町の位置づけ
第7次白糠町総合計画
白糠都市計画区域の整備、
開発及び保全の方針
白糠町公共賃貸住宅
ストック総合活用計画

1. 上位計画・関連計画における白糠町の位置づけ

本計画は、『第7次白糠町総合計画』、『白糠都市計画区域の整備、開発、保全の方針』、『白糠町公共賃貸住宅ストック総合活用計画』などの位置づけを踏まえ、将来のまちづくりの目標として関連性を保ち、調整を図る。

第 7 次 白 糠 町 総 合 計 画

I. 計画期間

平成20年度（西暦2008年度）から平成29年度（西暦2017年度）までの10年間とする。

II. まちづくりのテーマ

「白糠」の持つ地域資源を活用して、子どもから高齢者まで、住民一人ひとりが安心して健やかに生涯輝いて暮らせるまちの実現を目指し、まちづくりのテーマを次のように定める。

『生き生きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して』

III. まちづくりの基本施策

将来像の実現に向けて、まちづくりの基本施策（6つの施策の柱）を次のとおり設定する。

- | | |
|------------------|-------------|
| ①機能的で魅力ある基盤づくり | ～生活基盤分野 |
| ②美しく快適な環境づくり | ～環境保全分野 |
| ③健康で思いやりのある社会づくり | ～保健・医療・福祉分野 |
| ④希望あふれるひとづくり | ～教育・文化分野 |
| ⑤活力に満ちた産業づくり | ～産業振興分野 |
| ⑥みんなで歩む地域づくり | ～行財政分野 |

白糠都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

I. 基本的事項

1. 土地利用に関する主要な都市計画の方針決定

(1) 目標年次

- ・都市づくりの基本理念、将来の都市構造については平成 32 年を想定し、土地利用、都市施設等の決定の方針については、平成 22 年の姿として策定する。

(2) 都市づくりの基本理念

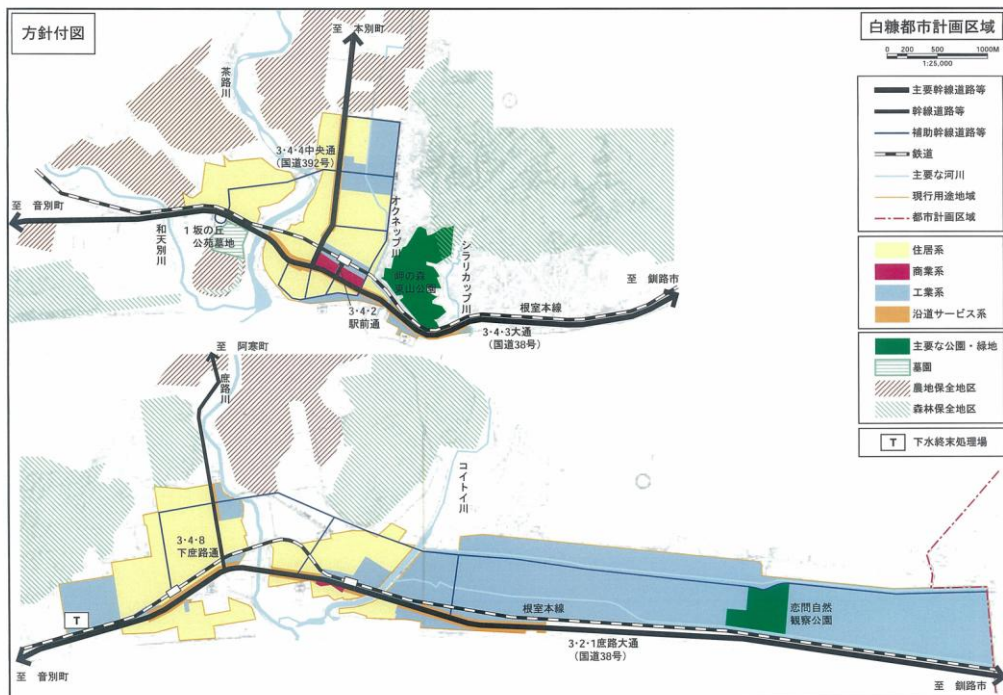
- ・まちづくりにおいて今一番大切なことは、自然から学び、歴史から学び、人から学び、ふるさと白糠から学び、そして足元を耕し直すことであり、本町の財産を再発見して、豊かな自然環境、良好な景観を生かした住民参加のまちづくりをすすめ、心から豊かさを感じる「まち」を目指します。

基本テーマ

『しらぬか彩（さい）発見幸せ指数 100 パーセント』

基本方向

- ①機能的で賑わいに溢れ活力あるまちづくり
- ②豊かな自然と暮らすまちづくり
- ③ふれあいと思いやりで共に築くまちづくり

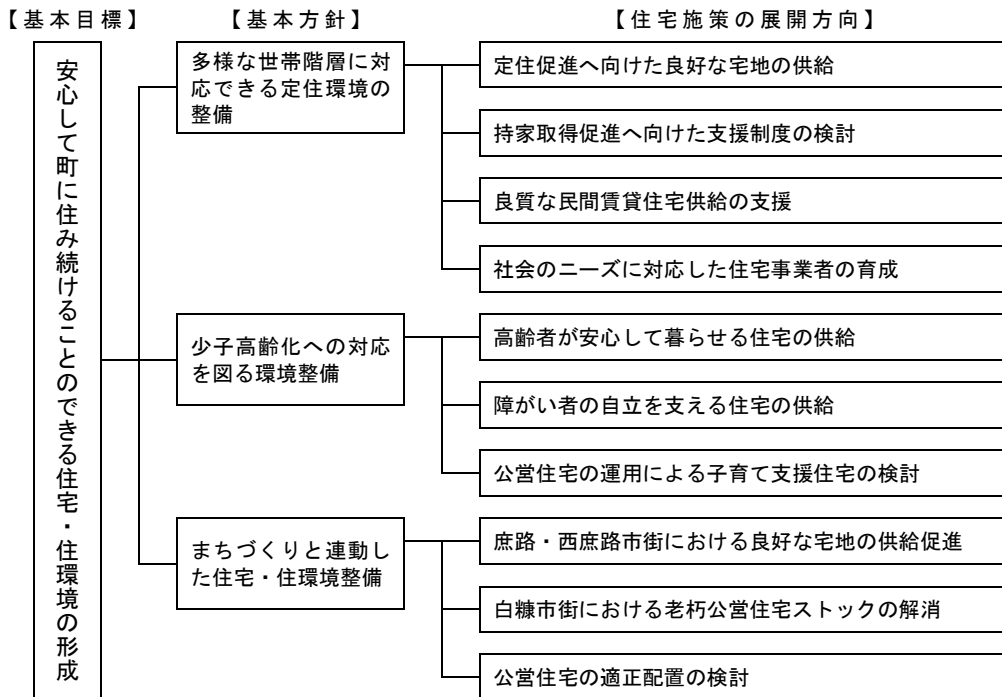


白糠町公共賃貸住宅ストック総合活用計画

I. 住宅施策の基本目標

『安心して町に住み続けることのできる住宅・住環境の形成』

II. 住宅施策の体系



III. ストック活用の基本目標

長期的な世帯動向（需要）を考慮し、良質なストックの形成とまちづくりと連動した適正な配置を行う。

IV. ストック活用の基本的な方針

- ①管理戸数の適正化
- ②高齢世帯・子育て世帯等に対応した住宅の供給
- ③地域状況に応じた団地の配置バランスの再検討

V. 公営住宅の供給戸数の検討

	公営借家世帯数	想 定 空 家 率	推 計 管 理 戸 数
平成 28 年	4 3 0 世帯	2 %	約 4 4 0 戸
平成 38 年	4 1 0 世帯	2 %	約 4 2 0 戸